

5月 ちとせだより

幼保連携型認定こども園
神戸YMCAちとせ幼稚園

例年、5月のゴールデンウィークごろに咲く藤棚の花が、今年は4月中旬ごろから綺麗に咲き始めました。新年度の始まりを彩るかのように、園でも春の自然を身近に感じることができます。しかし、花だけが自然ではありません。綺麗に花を咲かせているが故に、藤の花に群がるクマバチも例年以上に集まってきているようです。

ある日、藤棚の下を通って園に入るときに飛んでいるクマバチが怖くて、「クマバチを駆除して欲しい」という、ある子どもからのリクエストがありました。確かにあの大きな体と羽音は脅威に感じるかもしれません。しかし、クマバチは見た目に反して大人しい蜂と言われており、騒がなければ刺されることもありません。また、藤の花はクマバチのように力がなければ蜜を吸うことができない固いフタに閉ざされており、クマバチにとっては藤の花は他のライバルに取られない蜜となっているようです。逆に藤にとってはクマバチだけが自分の花粉を運んでもらえるので、受粉できる確率も高くなり、お互いにとって切っても切れない関係にあるのです。

今回のクマバチを駆除するというリクエストは、残念ながら応えることができませんでしたが、自然の中では、生き物や草花など見た目や役割が異なってもそれぞれが必要な存在として共存していることを知らされます。1人1人、1つ1つ違っていても、それで良く、それが大切なのです。私たちは、都合の良いものは取り入れ、都合が悪かったり、嫌なものは遠ざけたり、排除しようとすることがあります。しかし、自分にとって都合が悪い存在でも、ひょっとすると大切な存在になっているかもしれないということに目を向けなければいけません。

幼稚園では、少しずつ園生活に慣れ始めたお友だちが増えてきました。天気の良い日の園庭では各々が考える遊びが展開されています。ルールに縛られない子どもたちが考える遊び故に、相容れない様子があちらこちらで垣間見られます。物の取り合いや思い通りにいかないことでケンカをしたり泣いたりしている場面もよくありますが、このような経験を通じて、子どもたちは自分以外の他者や環境に出会い、様々な感情にも向き合っていくことになります。これからもそんな出会いを大切に、いっぱい感じて成長して行って欲しいと願っています。

【年主題】

『ともにつむぎだす』～希望の中で～

【年主題聖句】

キリストはおいでになり、遠く離れているあなたがたにも、
また、近くにいる人々にも、平和の福音を告げ知らせられました。
(エフェソ信徒への手紙2章17節)

5月主題 「感じる」

聖句 「主よ、お話してください。僕は聞いております。」
(サムエル記上3章9節)